

港南あひる保育園

横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表（保育分野）

事業所	港南あひる保育園
報告書作成日	平成30年3月11日（評価に要した期間 約7か月）
評価機関	公益社団法人 けいしん神奈川

評価方法

自己評価 （実施期間：29年10月8日 ～12月25日）	職員が領域ごとに自己評価票を作成し、その結果を職員全員で検討、話し合いの後、園長が全体を集約した。
評価調査員による評価方法 （実施期間：30年1月12日、 1月17日）	評価調査員（2名）が現地視察、書類確認、職員面接ヒアリング調査（園長、主任、保育士）を行った。 職員ヒアリングは2日目の午睡時に乳児担当、幼児担当、調理担当等の3グループ別を実施した。
利用者家族アンケート実施方法 （実施期間：29年12月4日 ～12月17日）	全利用者（園児）の保護者に事業者から手渡し、無記名にて記入していただき、回収箱にて回収した。
利用者本人調査方法 （実施日：30年1月12日、 1月17日）	観察調査は、主に各クラスおよび園庭にて実施した。 聞き取り調査は、幼児を中心に、保育中（昼食時を含む）に実施した。

横浜市福祉サービス第三者評価（保育分野） 評価結果

評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作	・保育理念や方針は年度初めに全職員で確認し常に目にふれるようにしています。また、毎月の園運営会議でいろいろな案件を討議する中で理念や方針の理解をすすめています。新しい職員には現場で保育をする中でその都度伝えることで理解が深まるようにしています。

成



- ・「利用者本人の尊重」は人権の学習をすることで、さらに職員の意識を高める努力をしています。
- ・保育課程は「保育の基本方針」に基づき、主任保育士が検討案を示し、職員全員で審議した後、園長が全体を取りまとめて作成しています。
作成にあたっては、近くに公園や広場が多いなどの地理的特性や一時保育などのニーズ、高齢者が多い事ことなど取り巻く環境の特徴、さらには保護者の意見も取り入れ、保育の質の向上のため、幅広い視野に立って検討がなされています。
- ・入園説明会で重要事項説明書に添って、理念・園目標・各クラスの年間保育計画を説明し、それだけでは理解はむずかしいので、その後のクラス懇談会等で具体的な保育の話をして、理解いただけるようにしています。保護者からの要望、例えば給食のサンプル展示、エレベーターの使用などには真摯に対応しています。
- ・保育の質を上げるため保育理念や方針について、園の見解を文書で伝えています。

I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施






- ・子どもの発達状況の把握について、入園前説明会で個別に聞き取り、また、入園後の面接や生育歴等で把握しています。把握した内容は職員会議等で口頭での報告、あるいはクラスの連絡ノートなどで共有し、同じ目線で子どもを観察できるよう留意しています。食べ物の好き嫌いや健康状態まで小さなこともクラスの連絡ノートに記載し共有しています。
- ・保護者が伝えたいことはどの職員もしっかり聞くようにしています。保護者が問題を感じて園に質問や要望をしてきたときは、必ず主任・園長に伝え、集団で検討し、職員全員が同じ内容で答えるようにしています。
- ・個別の状況については朝・夕の保護者との会話、子どもの観察などにより把握しています。
- ・子どもだけでなく、保護者の不安も受け止められるよう送迎時に話をしています。
- ・短縮保育は年齢や性格で、慣れ方の個人差が大きいため、一人ひとりの状況に合わせて時間や日数を変えています。
- ・連絡ノートは特に乳児の場合、家と園とで細かく情報を共有、安全・安心は保育をすすめるうえで重要であると認識しています。
- ・指導計画は保育課程に基づき、子どもの発達や健康、家庭の状況などを考慮して作成しています。保護者との面談、毎日の連絡帳や行事のアンケートなどを参考にし、保護者の意向も反映させています。要望が出された時には丁寧に聞き対応しています。見直しにあたっては、職員会議で常勤・非常勤保育士、調理担当者などすべての職員の意見を吸い上げて反映させることに努めています。
- ・幼児クラスはこどもの自発的な言葉を尊重し受け止め、集団の中にそれを反映させるようにしている。乳児クラスはこどもの意思と合わせて保護者の思いも受け止めるようにしています。
- ・年度により、クラスのこどもの構成が変わります。幼児クラスでも言語化が難しい子どももいる中で、1人の保育士ではなく複数の職員で子どもの姿を話し合い、指導計画に反映させるようにしています。

I-3 快適な施設環境の確保




- ・清掃マニュアルを定め、園舎は常に清潔で、適温・湿度で十分な明るさの確保に努めています。エアコンの使用に関しては、温度計・湿度計等で適切な設定をすると共に、こどもの感じ方に個人差があるので、衣服での調節も合わせて行うようにしています。
- ・0・1歳児室は睡眠時の室温の記録（1日5回実施）し、室温は冬は20度前後、夏は28度前後をめやすに温度管理に留意しています。
- ・トイレは24時間喚起しています。
- ・沐浴設備を0・1歳児保育室と2歳児保育室の間に設け1日1~2回実施しています。必要に応じて2歳児も気軽に利用できるようになっていました。
- ・2階フロアは幼児の人数（30名）に見合う温水シャワー（3台）が設置されています。室内だけでなく、外にも設置され、特に夏は、散歩から帰ってきて汗を流し心地よく過ごせるようにしています。温水の使用前には必ず、適正温度になっているか、保育士の手で確認をしています。
- ・食事と睡眠を別々の場所で行う機能別の空間を保持しているのは0・1歳児室のみです。2

	<p>歳以上は、必要最低限の面積の保育室のため機能別の空間にはなっていませんが、それを補うため、潜って遊べる小スペースを設け、数人でごっこあそびなどができるように工夫した設計にしています。必要に応じ木製遊具で間仕切りし、保育室を分けたりしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食室に隣接した多目的室で、食育の1つであるクッキングができるように、水道設備を整えています。また、給食室の窓も子どもからよく見えるように低い位置に設置しています。 屋上スペースで3・4・5歳児が交流したり、1・2歳児が幼児室の玩具を使って遊んだりしながら、上級クラスの保育室に慣れ、期待を持てるようにしています。年長の遊びへのあこがれが、早く大きくなりたいという前向きな気持ちを育てています。
<p>I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 0・1歳児は個人差が大きいことから、指導計画は個別に作成されています。幼児の場合、必要な子どもに対しては、個別の指導計画を作成されています。 配慮を必要とする子どもについて保護者への伝え方はとても難しいケースが多いですが、個別指導が必要な子どもには個別指導計画を作成し、保護者には、毎日の送迎時に子どもの園での姿をなるべく具体的に伝えるようにしています。 集団活動の中で手助けが必要な子どもには補助で職員がついて言葉かけをしたり、手をかしたりしています。 療育センター、区子ども家庭支援課など専門機関と連携しています。 こどもの発達に個人差があることは十分に理解しつつ、発達の順序や、はずしてはいけない発達の節目について全職員が共通理解に努めています。 入園時に提出いただく児童票で家族の状況や育児方針などを把握し、その後、内容に変更があればその都度、訂正して、最新の情報をいつでも職員が確認できるようにしています。 合同保育や朝晩のシフトで全職員が関わる子どもがいるのでクラス外のこどもの変化・家庭の状況など、打ち合わせを通して把握、共有しています。 記録は事務室の所定の場所に出退勤簿と一緒に保管し、職員は出退勤の際に見るようにしています。
<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 特に配慮を要する子どもについては、保育士会議や園運営会議で担当保育士が報告をし、全職員から意見を聞き次の保育につなげています。特に、関わり方が難しい子どもについては具体的な事例をあげて意見交換することで、同じ対応ができるようにしています。記録は個別ファイルがあり、基本的に担当が記録していますが、細かな情報もその都度、打ち合わせ（園長以下主要メンバーによる毎日15分くらいの会議）をして、全員が見る「打ち合わせノート」で共有できるようにしています。 障害児に関する学習は市や区の研修に積極的に参加することで、スキルアップをはかっています。 障害の認定の有無に関係なく、特別な配慮を必要とする子どもが数人います。そのために、保育士数に余裕をもたせています。 クラスの保育者だけでなく、職員全体で情報の共有化に努め、関わり方を統一させるようにしています。 「虐待防止ファイル」を作成し、横浜市の指針やハンドブックなどを常に閲覧できる場所に保管しています。 毎日の健康観察、体重の変化、衣服の汚れ、着替え時の視診を行い小さな変化を見逃さないようにしています。 虐待についての園内研修を非常勤職員も含めて実施しています。（港南区福祉センターの出前講座を利用） 子育てを大変と感じている保護者に対して、適切な声掛けができるように、観察は担任・主任・園長とそれぞれの立場で行い、情報の共有化に努めています。 保護者の言葉や態度、連絡帳の記述などで、必要と判断したときには、速やかに関連機関に情報を提供し連携をとっています。 今年度、アレルギー児は0名ですが、他園の事故報告書等は全職員で回覧し、新しい情報を共有し、受け入れに対しては即、対応できるようにしています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳児で入所後にアレルギー疾患が発症する場合も充分に考えられるので、離乳食のすすめ方では特に、保護者と細かく連絡を取り合うようにしています。 ・本人にアレルギーがなくても兄弟・姉妹に重大なアレルギーがあり、慎重になっている保護者には、気持ちに寄り添い納得してもらいながら、離乳食や食事をすすめています。 ・誤食事故を防止するために専用トレイや専用食器、名札等を使用し、声で確認しています。 ・母親が外国の方の場合、文化の違い、子育て方針の違いなどで入園当初、お互いに理解しあうのが難しいケースがあります。まず、相手のことを知り、理解するために入園時に個別面談を実施し、食事、睡眠、習慣等マニュアルに沿って具体的に聞き取りをしています。 ・年度により、クラスのこどもの構成が変わるので、幼児クラスでも言語化が難しい子どももいる中で、1人の保育士ではなく複数の職員で子どもの姿を話し合い、指導計画に反映させるようにしています。 ・宗教上の習慣、制約、食べ物などについて、保護者の考えや希望を受け入れ慣れるに従い、園の方針などを少しずつ伝えるようにしています。その際、園の都合ではなく、あくまで、園の方針である「子どもにとっての最善」という姿勢を大前提に話をしています。
<p>I-6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情や要望について、登降園時などに口頭で受け付け、その職員が処置できるものは速やかに処置し、園として検討すべきものはミーティングで図り、園で対応できない事項については法人本部、関係機関と連携して対応する仕組みが出来ています。 ・行事毎に保護者アンケートを実施し、園だよりで結果を紹介、次の行事に活かすようにしています。一保護者からの苦情でも、保護者全体に関わる内容の時にはお便りなどで苦情の内容と園の対応を伝えるようにしています。自ら苦情の申し立てができない保護者もお便りで知ることにより、園への理解や信頼が高まるように努めています。 ・子育て情報パンフレット港南区版や行政からのお知らせなどを保護者が手に取りやすい場所に置き、さまざまな相談機関の情報を伝えています。 ・近隣住民からの苦情に対しては、町内会役員といつでも相談できるように日頃から連絡を取り合っています。 ・苦情解決の過程を職員の学びの機会と捉え、必ず、園運営会議で討議し、共有化に努めています。 ・保護者からの苦情が夕方のお迎え時にあった場合、翌日の早番勤務の職員に内容を伝えるために、クラス毎のノートに記録するようにしています。朝の登園時の苦情に対してはその日の打ち合わせ会議で共有化しています。 ・重大な苦情やより早い対応が必要と思われる苦情については時機を失さないように時間を問わず、園長に伝え、迅速・的確な対応に努めています。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅱ-1 保育内容 [遊び]</p> 	<p>[遊び]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室のスペースを区切っていくつかの遊びができるように工夫し、手作りのおもちゃを提供するなど、子どもが興味を持てる遊びの環境づくりに努めています。 ・年齢が低いクラスは1人遊びが充分できるように玩具の種類や数を揃えるようにしています。入れ換えは季節や園児の興味・関心の様子から年に3~4回実施しています。管理簿も作成する予定です。 ・年齢が高くなると、物以上に一緒に遊ぶ仲間も大事な環境になることを保育者はしっかりと

捉え、観察し、じっくり遊んでいる時は見守り、トラブルなど子どもだけでは解決できないと判断したときには最小限関わるようにしています。

- 子どもの自由な発想を尊重しつつも、タイミングをみて遊びが発展していくヒントを与えたりしています。
- 約束事を守ることができる幼児の保育室では、紙だけでなくはさみやのりも自由に出して使えるようにしています。「出すのもしまうのも、自分の責任で」が大事な教育の1つであるとしています。
- 自由に製作活動ができるように、空き箱や紙類を常に決まった場所にストックし、子どもが自由に選んで使えるようにしています。
- 近隣に公園が多いので、各年齢や季節に合わせて散歩コースを変えることができます。特に秋・冬は散歩の距離を伸ばし、体験を広げています。
- 畑での栽培活動を年間計画に入れて、クッキング活動までつなげることで食に関する体験を豊かにし、将来にわたる食育の土台をつくっています。
- 保育室で使う物（石鹸など）やクッキングの材料を近所の店に買い物に行き交流しています。
- 散歩で近所の方と会う機会が多く、保育士が積極的に挨拶することで子どもからも自発的に挨拶するようになり会話が増えています。
- 幼児クラスは自由に絵を描いたり、工作できるように子どもの手の届くところに、クレヨン、紙、工作素材を置いています。その中で、自由に使うためには、「保育士に断ってから出す」「使い終わったら元も場所に戻す」などのルールがあり、守らないとハサミ等は使えないことを教えています。
- 字については、強制にせず、一人ひとりのタイミングで興味・関心が育つように環境設定に工夫をしています。
- 散歩の時に、時々、異年齢で手をつないで歩いています。自分が小さい立場になったり大きい立場になったりすることで、関わり方を楽しく学ばせています。
- 子ども同士のけんかについては、年齢やその子の性格などで違ってくるので、すぐに止める時とゆっくり見守るときと、その判断はむずかしいですが、1・2歳児の場合、言葉で自分の思いを伝えられないとかみつきなどもおこるので、特に注意が必要としています。
- 対応の難しい子、トラブルになることが多い子に関しては担任1人で抱え込まないよう、保育士会議などに情報提供をして検討、対応を行っています。
- 全クラス、散歩を毎日取り入れています。雨天でも年長児は傘やカッパを着て散歩をすることもあり、天気によって変わる景色を楽しんでいます。
- 園庭が狭いので、身体を大きく動かせるように枕木クライミングを設置するなど、運動量を増やす工夫をしています。
- 室内では0・1歳児と2歳児の保育室の仕切りをはずし、廊下も使い木製の大型遊具を配置し、走ったり、登ったり、ジャンプしたり、思いっきり身体を使う運動、遊びをしています。
- 外部講師を招き、幼児クラスの子どもと職員が体育指導を受け、運動の仕方、指導のポイントなどを学んでいます。運動能力には個人差が大きいので、それぞれのペースに合わせ無理のないように進めています。
- 紫外線対策として、ウッドデッキや屋上には日除けのターフを取り付け、子どもたちは必ず帽子を被るようにしています。また、既往歴のある子どもや外遊びのできない子供に対しては、他のクラスとも協力して室内で保育する体制を作るなどの配慮をしています。

Ⅱ－１ 保育内容 [生活]



[生活]

- ・調理をしている場面を見たり、自分たちで配膳・下膳をして、食に興味・関心を持つように働きかけています。
- ・バイキング形式を取り入れた行事食やクッキング保育で食に楽しく興味・関心がもてるようにしています
- ・離乳食をあげる時、お座りが完全に自力で、できるまでは1対1で抱っこし、優しい声掛けをしながらあげています。
- ・苦手なおかずを少なめに配膳したり、子どもにどれくらい盛り付けるか希望を聞いたりして、負担感を減らすように努めています。
- ・食器は大切に扱うものなので、乱暴に使うと割れる磁器のものをあえて使用し、マナーや躰も教えています。みそ汁椀は木製を使い、食べ物と器についても教えています。
- ・旬の食材を使い、季節感を出し、行事食（ひなまつり、七夕、七草がゆなど）で日本の伝統行事に親しめるようにしています。
- ・好きなものから自由に食べられるバイキングを取り入れたり、食事を楽しめる工夫をしています。
- ・食器の安全点検は配膳時に1枚ずつ確認しています。
- ・各クラス、下膳時に喫食状況を給食室職員に伝えるようにしています。
- ・毎月の保育士会議に栄養士も出席し、各クラスの子どもの喫食状況を聞き、献立作成の参考にしています。また、栄養士の考えも保育士に伝え、新しい食材やメニューを入れるときは事前に伝え、こどもたちへの働きかけ等協力してもらうようにしています。
- ・献立表は前月末に配布し、各クラスにも掲示しています。年長クラスにはひらがなに打ち直した表をこどもが見える場所に掲示しています。
- ・毎日の給食を写真にとり、玄関に掲示している。写真を見ながら親子の会話も弾んでいるようです。
- ・給食だよりを季節ごとに発行し、人気レシピを載せたり、子どもたちの様子を伝え、保護者に食への関心をもってもらおうようにしています。
試食はの機会は各クラス年2回、保育参観の時に実施しています。
- ・保育園の一日の生活リズムの中で、午前に睡眠を持ってきた方が子どもの発達によい、という研修の後に午前睡を取り入れています。
- ・年長児は1月から午前睡なしで活動しています。
- ・睡眠は個人差があるだけでなく、家庭での過ごし方からも影響を受けやすいので、皆と一緒に眠れたり、眠れなかったり日によっても違います。毎日の様子を観察し、保護者と丁寧に伝達しあい、こどもが毎日快適に健康に過ごせるようにしています。
- ・0歳児はあおむけに寝かせ、SIDSについては年度はじめの会議で防止策の確認をしています。眠れない子は、乳児は個別対応で散歩に出たり、寝ている子から離れて静かに遊ばせたりしています。幼児は寝れなくても布団でからだを休ませるように話しています。
- ・トイレトレーニングは個人差が大きいだけでなく、行きつ戻りつするものなので、一人ひとりの様子を見ながら、その子のペース、リズムに対応しながら進めるようにしています。
- ・家庭と同時に始めるのが子どもにとって負担がないので、行きつ戻りつする中で、連絡帳や送迎時に口頭で丁寧に連絡を取り合っています。おもらした時はシャワーできれいになっています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



[健康管理]

- ・入園時に健康台帳に既往歴、予防接種他を記載してもらい、年 2 回の健康診断時に見直し最新情報が把握できるようにしています。
- ・熱性けいれんについては医師の指示が統一ではない（発熱何℃で座薬使用か？）ため、特に注意して個別対応をしています。
- ・体調不良時、すぐにお迎えを必要としない場合でも状況によって保護者に連絡を入れてこどもの様子を伝えることがあります。
- ・歯科検診前後に歯の働きや大切さを学び、その後の歯磨きを丁寧に行うように指導しています。3 歳クラスから食後の歯磨きを取り入れており、歯科検診時には歯科衛生士より歯磨き指導を受けています。
- ・毎月の身長・体重測定時には結果を確実に記録すると共に、数字だけではなく全身の皮膚・その他の観察を細かくすることで虐待などの早期発見につなげています。
- ・嘱託医とは契約書を交わし、それにより連携しています。
- ・嘱託歯科医が近いことで要治療の子どもたちが通院しやすい状況にあります、
- ・感染症対応マニュアルがあり、症状、潜伏期間、合併症、登園停止期間等の記載が記載されています。また、保育中に発症の疑いが生じたときは保護者に連絡、医務室に他児から隔離して保育しています。
- ・在園児の兄弟・姉妹が感染症にかかった場合も職員間で情報を共有し初期対応ができるようにしています。
- ・区の保健センターからの情報を保健衛生係が判断し、職員への周知、保護者への情報提供などを行っています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



[衛生管理]

- ・衛生管理マニュアルがあり、清掃、消毒などの手順が記載されそれに基づいて実施されています。
- ・係を中心に用具の点検や確認をし、全職員に周知しています。使用時や掃除のときにチェックしています。
- ・砂場の消毒・猫の糞対策など、係を中心に、毎年試行錯誤しながら実践しています。害虫の駆除については年 2 回実施しています。
- ・汚物の処理はマニュアルがありそれに沿って実施しています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]





[安全管理]


- ・予想される事故や災害として地震・火事・雷・洪水を想定しています。
- ・備品や設備の転倒・落下防止処置は随時行い、不十分な箇所は発見次第処置しています。
- ・防災・避難訓練は毎月 1 回実施しています。年 1 回消防署から講師を招いての園内研修で、救急救命法や事故防止について学んでいます。非常勤職員も可能な限り参加していますが、参加できなかった職員には、資料を渡し、園運営会議等で報告をしています。
- ・保護者への緊急連絡表は作成していますが、地震等の時は災害時伝言ダイヤルで園児の安全確認を行うことにしています。
- ・医療機関、地域防災機関等への連絡一覧表を作成し、事務室に掲示しています。
- ・事故対応マニュアルを作成し、発生時に的確に対応できることを目指し、内部研修、訓練、研究会などで活用しています。
- ・ヒヤリハットは毎日、記録をし、月ごとに係がまとめて、園運営会議で報告しています。それにより、自分の気づきだけでなく年齢ごとの特徴などが統計からよくわかり、事故予防につながっています。
- ・小さなケガも打ち合わせで報告し、周知しています。
- ・玄関付近は、事務室から前の道路が良く見えますが、一部隣接している公園やマンション側からの侵入抑止のため、防犯カメラを増設しています。
- ・不審者侵入時の通報体制、避難体制は緊急時マニュアルの中に定められています。
- ・町内会の会員になっているので、地域からの情報も入り、常にチェッ



	<p>クしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急通報は区の保育園の連絡網で入ることになっています。
<p>Ⅱ－３ 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの人権尊重は常に意識して保育をすることが求められるが、意識を保つために、園運営会議の場で人権の係が必要に応じて事例の報告や提案をするとともに、人権についての外部研修を受講した職員が他の職員に報告することで意識を高め合っています。 ・保育室の空きスペースを利用し、カーテンを掛け、他人の視線を意識せず過ごせる場所があり、保育室の設計や家具の配置で1対1を確保できるよう工夫しています。場合によっては、保育室の外（廊下など）でゆっくりクールダウンしながら話したりすること等、保育士の判断で行っています。 ・個人情報の取り扱いマニュアルを作成しており、全職員に周知しています。個人情報の取り扱いについては、職員の意識の向上が欠かせないので、年度初めに必ず確認するようにしています。また個人情報の取り扱いについて保護者に説明し、了解の確認をとっており、個人情報に関する記録は施錠できる場所に保管・管理しています。 ・無意識に、性差への先入観による声かけなどが発生してしまう、という認識のもと、園運営会議でこどもの人権や性差による固定観念などについて学ぶ機会をつくっています。自由に遊べるおもちゃの中にエプロンやスカートがあり、男の子が遊ぶ姿を肯定的に捉えています。
<p>Ⅱ－４ 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のクラス便りに保育園での子どもの姿を具体的にのせるようにし、その中で、わかりやすい言葉で保育園として大事にしていることが伝わるようにしています。毎日の送迎時の保護者への声掛けで、子どもの様子を伝えるときに保育方針が伝わるようにしている。幼児クラスは個人の連絡帳ありませんが、その日の活動やこどもの様子・エピソードなどを「今日のできごと」と称して見やすい場所に毎日掲示しています。 ・保育者は時差出勤のため、担任がいつも保護者と直接話せないときなど、3歳未満児は個別の連絡ノートで補い、3歳以上児は、朝夕の引継ぎの時に口頭のみではなく、クラスノートの記録で、伝達漏れがないようにしています。 ・保護者からの要望があればいつでも個別面談に応じ、担任だけでなく、主任保育士や園長にもいつでも相談できることを保護者に伝えています。他の保護者だけではなく、幼児になるとこども本人の前では話せないこともあり、必要に応じて時間と場所を工夫し、相談内容によっては担任保育士だけではなく、主任や園長が同席しています。送迎時にクラス担任が受けた相談で返答が難しいときは、即答せず、主任や園長に相談し、日を改めて返答するようにしています。また、返答した内容と保護者の様子などは主任・園長に急ぎ報告をし、次につなげています。 ・毎月のお便りは、お願いごとや連絡事項で紙面を埋めないように、子どもたちの様子が目に浮かぶようなエピソードをのせるように心がけています。各行事への参加は園舎が狭いため、参加人数を制限することもあります。体育館を借りての運動会は希望者全員が参加できるようにし、祖父母の園への理解を得るきっかけをつくっています。 ・「おじいちゃん・おばあちゃんの日」を設定し、地域の方や祖父母の方も園での様子を知ってもらい、子どもたちと関われる機会をつくっています。翌月のお便りに、懇談会で出た話を具体的に掲載し、楽しい雰囲気伝え、次の会への参加意欲が高まるようにしています。 ・保護者会の話し合いに保育室を貸し出しており、夕涼み会に保護者会からの参加協力をもらい、子どもをまん中に園と保護者が協力できる仕組みを大切にしています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能


評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のケアプラザ主催の「永谷地区地域支えあいネットワーク」に園長が参加し、地域の小中学校長、民生委員、町内会長、社協の人たちと情報交換をし、一緒に活動しています。 ・港南区子育て連絡会に加入し、情報交換や「子育て情報パンフレット」の製作に協力しています。 ・保育室面積に余裕がある２歳児クラスのみの一時的保育受け入れになっているが、１歳児の要望が多いため、１歳後半の子は２歳児クラスで受け入れるようにしています。 ・今年度、園独自の研修会の開催はしなかったが、次年度は計画しています。区や市の子育てに関する講習・研修で保護者にすすめられるものは、玄関や外の掲示板に掲示して情報伝達をしています。
<p>Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園見学の問い合わせの電話や、見学時に子育てに関する相談が入ることが時々あり、丁寧に聞き、園ではこうしています、などと具体的な言葉で答え、共感することを心掛けています。 ・育児相談は、電話での問い合わせに対し、相談日を決めて実施するようにしています。 ・連携する組織の情報は港南区の子育てマップ（園長が作成に携わっている）を利用しています。 ・区の子育て支援の組織（港南区子育て連絡会）に加入し、定期的で開催される会議に参加し、また市保育支援課、ケアプラザ、地区センター、幼保小連絡推進会、市社会福祉協議会、よこはま港南療育センター等と連携し常に新しい情報の入手に努めています。



評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の３つの町内会共催で行う夏祭りに職員が手伝いで参加、一緒に販売などをしながら交流を深め、運動会を小学校の体育館を借りて実施する過程で、職員同士の交流がすすみ、子どもも学校を身近に感じるなど就学前の良い経験になっています。 ・近隣の公園をよく利用していますが、使う前に、ごみや猫の糞などを取り除き環境美化に協力し、園児の声に対する苦情などがないように努力しています。・職員は、通勤時に必ず挨拶をすること、子どもたちと散歩をする時も、まず職員が挨拶をすること、を最低限実行することを確認しています。 ・給食食材の内、魚と野菜は地域の商店から仕入れ、クッキングの材料を保育士と子どもで、近所の店で購入し、交流しています。 ・地域で実施する子ども向けの行事のお誘いがあると、保護者に掲示しており、実際に参加して保護者、町内会主催者、両方から「良かった」と感想がありました。 ・地域に文化・レクリエーション施設があれば利用したいと考えていますが、残念ながら近隣にはありません。そこで近隣の保育園や小学校と交流しており、小学校とは運動会に体育館を借りる過程で何度も訪問し、子どもたちにとって身近なものになっています。


<p>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所のパンフレット・広報誌・当園・市・区ホームページ等により、地域や関係機関に随時、情報を提供しています。 ・保育所情報冊子に依頼され、園舎外観写真・サービス内容・料金・入所時の準備などの情報提供を行いました。 ・電話での問い合わせが多いですが、実際に親子で来園し、見学することをすすめています。 ・見学日時を一人ひとりの希望に合わせることはむずかしいので、月に２回の子育て支援の日にこどもを連れて遊びながらの見学をすすめています。見学者が多い夏から秋にかけては、臨時に見学日を増やすなどして、希望した方がどこかで見学できるように配慮しています。時間は午前と午後の両方を計画し、参加しやすい時間帯を選べるようにしています。基本は予約制ですが、突然に来園した場合でも簡単に園内を案内し、質問に答えるようにしています。
<p>Ⅳ－３ ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・認可保育園になり３年目で、これから受け入れを本格化する予定で準備しています。地域の特性で年配の方が多くいるので、こどもと動いて遊ぶより、布製の手作り玩具製作などを中心にした方が継続しやすいのでは、と考えており、１月から予定しています。 ・実習生受け入れマニュアルに基づき、今年度１名を受け入れました。 ・実習受け入れ担当の主任保育士は市主催の研修を受講、他の職員にも内容を周知しています。 ・実習生を受け入れることで、園の職員が自分たちの保育を振り返ったり、実習生の感性に影響されて保育を違う視点から見直したり、得るものが大きい、と捉えています。

評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上

<p>評価分類</p>	<p>評価の理由(コメント)</p>
<p>Ⅴ－１ 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員に対して必要保育士数の計算は、障害や特別な配慮を必要とするこどもの人数によって変わるため、年度初めや年度途中でも保育士の意見を聞きながら配置するようにしています。 ・半年毎に業務の達成度などを全職員がチェックし、主任保育士に提出、その後、園長と個人面談を実施し、次の課題などの確認を行っています。 ・園内研修は、夕方の園運営会議に続けて実施、あるいは、日中のこどもの睡眠中に当番の職員以外全員で参加など時間帯の工夫をしながら行っています。園内研修の場合は常勤・非常勤共に受けることにしており、園外研修については代表が参加し、レポート提出や会議で他の職員に伝えるようにしています。研修報告レポートはいつでも見られるようにしています。 ・環境・衛生・教材・など園運営に必要な業務を常勤と非常勤が組んで取り組むことで、業務が円滑に行われ、保育園の組織の一員としての自覚が育つようにしています。 ・園内研修は常勤・非常勤が同じ場所で同じ研修を受けることで、モチベーションが上がり、コミュニケーションも良好になっています。 ・非常勤職員の指導は日常的にはクラス担任が行い、必要に応じてフロア主任保育士・主任保育士が行っています。

<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、外部講師による体育指導を幼児クラスの園児と職員が受け、スキルアップをはかりました。今後も実施して行くように努めています。 ・他園の保育の実地研修で実際の保育現場から学ぶ、また、園に来ていただき、意見・感想をいただき、保育に活かすなどを積極的に行うようにしています。 ・行事後の保護者アンケートを全職員が読み、保育のねらいなどの伝わりかたを把握し、また保育への要望なども知り、次へとつなげるようにしています。 ・毎日の保育日誌を主任保育士、園長が読み、必要と思われる助言を行ったり、課題を提起したりしています。 ・個人や係の自己評価をもとに、保育所自己評価委員が中心になり、職員一人ひとりの意見を吸い上げ、園運営会議で経過を報告しながら、すすめています。自己評価の結果から、早期改善が求められるものと、長期的な計画が必要なものとに分け、それを共有化し、改善が急がれるものについては、職員でチームをつくり、具体的に取り組んでいます。 ・保育所自己評価はホームページで公表し、園の玄関にも掲示しています。
<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の意見・要望を募るために、園長が個別面談を実施し、直接要望を聞いています。 ・今年度より主任保育士の下に各フロア主任を位置づけ、自分のクラスだけではなく、乳児・幼児それぞれのフロアの職員の適正配置などを把握・判断できるようにしています。 ・常勤・非常勤職員共に意見を表明しやすいように、事務室のボードに自由に付箋を貼る方法を取り入れています。内容は働きやすい職場にするために、どこか改善できることはあるか、などです。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の目標の一つに適正な財産管理があります。保護者や地域住民から信頼される保育園づくりには不可欠であることを認識し、年度初めの会議で確認しています。 ・時事問題で取り上げられているものがあれば、園運営会議などで全職員が共有できるようにしており、行政から他法人の不正経理について情報が入ったときには、理事会及び、職員会議で取り上げ、正しい経営・運営について確認しています。 ・法人の総会資料を開示し、経営・運営状況がわかるようになっています。また、疑問・質問にはいつでも答えることを伝えています。 ・運営委員会（保護者3名、職員、園長、理事の計6名で構成）で事業報告、決算報告を行っています。 ・幼児クラスはごみを分別できるように言葉かけをしています。洗剤など、詰め替えて購入可能な物はそれを利用しごみ減量を意識しています。 ・園庭は狭いが、プランターを利用するなどして、緑を増やし、見た目でも涼しさを感じられるようにしています。

VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



- 文書の配布だけではなかなか理解が深まらないので、行事の前に、その行事の目的について、全体で討議をし、確認する中で理念の理解を深めています。
- 全ての職種の常勤職員、非常勤職員で構成する園運営会議を毎月開き、運営体系図に則った各係の取組み状況を確認し共有しています。
- 職員に関する意思決定については、会議や回覧等で個人個人じっくり精査したあとに決定する仕組みとなっています。
- 保護者、職員、有識者で構成する運営委員会を定期的を開催し、それぞれの立場から意見を述べ、決定する仕組みがあります。
- 利用する保護者に関する意思決定については、事前に保護者会で説明をし、質問等を受けられるよう、日頃から園と保護者会と円滑な関係を結ぶ努力をしています。
- 主任育成のプログラムを園独自では決めていないため、横浜市主催の主任育成の連続講座を利用し、またフロア主任の育成には、県主催のキャリアアップ研修を受講させ、育成しています。
- 毎月の園運営会議の前に、各係が担当業務の進行状況を書面で伝え、会議で全職員に周知しています。

VI-3 効率的な運営



- 運営に関して外部機関（市社会福祉協議会、横浜市私立保育園園長会、他）や「保育情報誌」から新しい情報を得るようにしています。横浜市や港南区の待機児の状況を市のホームページや園長会等で常に把握しています。
- 保育所自己評価を実施する中で改善課題とされたものについては、改善委員会を設置し、職員中心に改善策を考えています。
- 次期幹部職員に対し、運営に関する庶務などを教育予定です。
- 開園 3 年目で地域の世帯状況や保育園への要望などつかむ努力をしているところがあります。
- 職員が長く働き続けられるように職場の労働環境の向上に努め、具体的には年休の取得率を上げるための職員配置や職員の意識変革。常勤・非常勤全員が参加する職員会議での意見交換などを通して、初任者・ベテランが何でも話し合える雰囲気の良い職場づくりをめざしています。
- 税理士・社労士と顧問契約を結び、常に新しい情報をもとに、労働環境の整備などを行っています。

利用者家族アンケート結果

〔結果の特徴〕

◆実施方法

- 保育園から全園児の保護者に配布し、無記名にて回答。
- 評価機関が設置した回収箱に各保護者が投函し、評価機関が回収。

◆配布数：45 回答数：44 回収率 ； 98 %

※同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

◆園の基本理念や基本方針について、「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の割合は合わせて 63.7% で、その基本理念や基本方針について、「賛同できる」と、「まあ賛同できる」と答えた保護者を合わせた割合も 63.6% の保護者の賛同を得ています。

◆各項目の中で、満足度の割合が比較的高かった項目（「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合が 90% 以上）は下記のとおりです。

○保育園のサービス内容について

- ・見学の受け入れ方については（90.9%）
- ・入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については（90.1%）
- ・保育園での1日の過ごし方についての説明について（97.7%）

○日常の保育内容について

「遊び」

- ・クラスの活動や遊びについて（95.5%）
- ・子どもが戸外遊びを十分しているかについて（95.4%）
- ・園のおもちゃや教材について（90.9%）
- ・自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動について（90.9%）
- ・遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについて（93.2%）
- ・遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについて（93.2%）

「生活」

- ・給食の献立内容については（93.1%）
- ・お子さんが給食を楽しんでいるかについて（93.2%）
- ・基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについて（97.5%）
- ・昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについて（91.1%）
- ・お子さんの体調への気配りについて（90.9%）
- ・保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には（95.5%）

○保育園の快適さや安全対策などについて

- ・施設設備について（98.5%）
- ・お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについて（95.5%）
- ・感染症の発生状況や注意事項などの情報提供について（93.2%）

○園と保護者との連携・交流について

- ・園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供について（93.4%）
- ・お子さんに関する重要な情報の連絡体制について（95.5%）
- ・保護者からの相談事への対応について（90.9%）
- ・開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応について（90.9%）

○職員の対応について

- ・あなたのお子さんが大切にされているかについて（97.0%）
- ・あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについて（100.0%）
- ・話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについて（95.5%）
- ・意見や要望への対応については（93.2%）

○保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか

- ・総合満足度は（93.2%）

◆各項目の中で、満足度の割合が比較的低かった項目（「不満足」と「どちらかといえば不満足」を合わせた割合が20%以上）はありませんでした。

◆自由意見について

○保育園に対する御礼や感謝のコメントが多数寄せられました。運動会などの行事の天候不良時への対応、写真撮影に関する要望などがありました。

◆まとめ

○総合満足度は93.2%と極めて高くなっています。

○日常の保育内容(「遊び」と「生活」)に対する満足度が特に高く、子どもが楽しく充実した日々を過ごしていることを実感し、園に対する信頼と感謝の気持ちの表れと思われま。

■保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園 の保育目標・保育方 針をご存知です か。	よく知って いる	まあ知って いる	どちらとも いえない	あまり知ら ない	まったく 知らない	無回答	計
(人)	1	27	6	8	1	1	44
(%)	2.3%	61.4%	13.6%	18.2%	2.3%	2.3%	100.0%

(付問) あなたは、その保育目標 や保育方針は賛同でき るものだと思いますか。	共感できる	まあ共感で きる	どちらとも いえない	あまり 共感できな い	まったく 共感できな い	無回答	計
	14	14	1	0	0	15	44
	31.8%	31.8%	2.3%	0.0%	0.0%	34.1%	100.0%

■保育園のサービス内容につ
いて

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れ方につ いては	25	15	1	0	3	0	44
	56.8%	34.1%	2.3%	0.0%	6.8%	0.0%	100.0%
	その他 .						
入園前の見学や説明な ど、園からの情報提供に ついては	20	18	3	0	2	1	44
	45.5%	40.9%	6.8%	0.0%	4.5%	2.3%	100.0%
	その他 .						
園の目標や方針につい ての説明については	17	21	1	0	4	1	44
	38.6%	47.7%	2.3%	0.0%	9.1%	2.3%	100.0%

	その他 .						
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	20	20	0	0	4	0	44
	45.5%	45.5%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	100.0%
	その他 .						
保育園での1日の過ごし方についての説明には	22	21	0	0	1	0	44
	50.0%	47.7%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	100.0%
	その他 .						
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	21	18	3	0	2	0	44
	47.7%	40.9%	6.8%	0.0%	4.5%	0.0%	100.0%
	その他 .						

問3 保育や行事の年間計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事の説明については	14	22	5	0	2	1	44
	31.8%	50.0%	11.4%	0.0%	4.5%	2.3%	100.0%
	その他 .						
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	11	23	6	0	3	1	44
	25.0%	52.3%	13.6%	0.0%	6.8%	2.3%	100.0%
	その他 .						

問4 日常の保育内容について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
「遊び」について							
クラスの活動や遊びについては	27	15	1	0	0	1	44
	61.4%	34.1%	2.3%	0.0%	0.0%	2.3%	100.0%

(お子さんが満足しているかなど)	その他 ・						
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	32	10	1	0	0	1	44
	72.7%	22.7%	2.3%	0.0%	0.0%	2.3%	100.0%
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	27	13	1	0	2	1	44
	61.4%	29.5%	2.3%	0.0%	4.5%	2.3%	100.0%
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	27	13	2	0	1	1	44
	61.4%	29.5%	4.5%	0.0%	2.3%	2.3%	100.0%
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	25	16	1	0	1	1	44
	56.8%	36.4%	2.3%	0.0%	2.3%	2.3%	100.0%
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	27	14	1	0	1	1	44
	61.4%	31.8%	2.3%	0.0%	2.3%	2.3%	100.0%
	その他						

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
	給食の献立内容については	35	6	1	0	1	1
79.5%		13.6%	2.3%	0.0%	2.3%	2.3%	100.0%
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	33	8	0	0	2	1	44
	75.0%	18.2%	0.0%	0.0%	4.5%	2.3%	100.0%
	その他 ・						

基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなどの自立に向けての取り組みについては)	34	9	0	0	0	1	44
	77.3%	20.5%	0.0%	0.0%	0.0%		100.0%
その他							
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	26	11	3	1	2	1	44
	59.1%	25.0%	6.8%	2.3%	4.5%	2.3%	100.0%
その他 ・午前寝はやめて欲しい。午後3時間希望したい。							
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	30	8	3	0	2	1	44
	68.2%	18.2%	6.8%	0.0%	4.5%	2.3%	100.0%
その他							
お子さんの体調への気配りについては	27	13	0	0	2	2	44
	61.4%	29.5%	0.0%	0.0%	4.5%	4.5%	100.0%
その他 ・気にはしてくれるが、事後報告がある。							
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	29	13	1	0	0	1	44
	65.9%	29.5%	2.3%	0.0%	0.0%	2.3%	100.0%
その他 ・小さなケガでも報告してくれる。 ・伝え忘れが何度かあった。							

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	22	19	2	0	0	1	44
	50.0%	43.2%	4.5%	0.0%	0.0%	2.3%	100.0%
その他 ・朝床暖房がついていないことがある。							
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	26	16	1	0	0	1	44
	59.1%	36.4%	2.3%	0.0%	0.0%	2.3%	100.0%
その他							

外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	18	21	4	0	0	1	44
	40.9%	47.7%	9.1%	0.0%	0.0%	2.3%	100.0%
その他							
.							
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	21	20	1	1	0	1	44
	47.7%	45.5%	2.3%	2.3%	0.0%	2.3%	100.0%
その他							
.							

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	13	23	5	0	2	1	44
	29.5%	52.3%	11.4%	0.0%	4.5%	2.3%	100.0%
その他							
・どちらともいえない、保護者同志の交流の場がもう少しあると良い。							
・個別面談はもうちょっとふやして欲しいです。							
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	23	18	3	0	0	0	44
	52.3%	40.9%	6.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	20	17	3	4	0	0	44
	45.5%	38.6%	6.8%	9.1%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	16	20	4	1	3	0	44
	36.4%	45.5%	9.1%	2.3%	6.8%	0.0%	100.0%
その他							
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	22	20	1	0	0	1	44
	50.0%	45.5%	2.3%	0.0%	0.0%	2.3%	100.0%
その他							
保護者からの相談事への対応には	19	21	2	0	1	1	44
	43.2%	47.7%	4.5%	0.0%	2.3%	2.3%	100.0%

	その他 ・相談窓口はありますが、気を使ってしまい、相談しにくいです。						
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	25	15	2	1	1	0	44
	56.8%	34.1%	4.5%	2.3%	2.3%	0.0%	100.0%
	その他						

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	30	12	0	0	1	1	44
	68.2%	27.3%	0.0%	0.0%	2.3%	2.3%	100.0%
	その他 ・						
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	38	6	0	0	0	0	44
	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	22	9	1	0	8	4	44
	50.0%	20.5%	2.3%	0.0%	18.2%	9.1%	100.0%
	その他						
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	28	14	0	0	2	0	44
	63.6%	31.8%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	100.0%
	その他 ・						
意見や要望への対応については	19	22	0	0	2	1	44
	43.2%	50.0%	0.0%	0.0%	4.5%	2.3%	100.0%
	その他 ・言いにくいですが。でも信頼してる先生はいます。						

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかとい えば満足	どちらかと いえば不満	不満	無回答	—	計
総合満足度は	25	16	1	0	2		44
	56.8%	36.4%	2.3%	0.0%	4.5%		100.0%

利用者本人調査

【0歳児】（1月12日）

〈保育の様子・子どもの様子〉

おやつ時間を観察しました。メニューは鮭入りの焼きおにぎりとバナナ、牛乳で、皆静かに、また美味しそうに食べていました。一つの焼きおにぎりを食べた園児は2つ目の焼きおにぎりをお替わりする園児もいました。0歳児には保育士の先生が隣に座り、月齢の低い園児には口に運ぶのを手伝っていましたが、一方月齢の高い園児は自分で食べ、皆楽しそうに食べていました。

【1歳児】（1月12日）

〈保育の様子・子どもの様子〉

おやつ時間を観察しました。メニューは鮭入りの焼きおにぎりとバナナ、牛乳で、0歳児に比べ、上手に食べ、食欲も旺盛で、一つ食べ終わった園児は2つ目の焼きおにぎりをお替わりする子も沢山いるように見受けられました。「美味しい？」と聞くと「美味しい」と答える園児と、ニコニコしてうなづく園児さまざまでした。帰りに「バイバイ」と手を振ると「バイバイ」と手を振ってくれました。

【2歳児】（1月12日）

〈保育の様子・子どもの様子〉

おやつ時間を観察しました。皆椅子に座って行儀よく、美味しそうに食べていました。最初は皆行儀よく食べていましたが、2つ目の焼きおにぎりをお代わりするころには、動きが活発になり、席を離れる子や食器で遊ぶ子も出始め、食器類は磁器を使っているため、保育士の先生が園児に静かに、丁寧に扱うように教えていました。

【3歳児】（1月12日）

〈保育の様子・子どもの様子〉

食事の時間を観察しました。メニューはシュウマイ、ナムル、卵汁、ご飯でした。当番の子が大きな声で「頂きます」というと、みんな揃って元気よく「頂きます」と言って始めました。一人の子が皆の名前を紹介してくれましたが、それも終わらないうちに「おじさんの名前は？」「おじさんいくつ？」「お家はどこ？」などの質問が同時に矢継ぎ早に飛んできて対応にひと苦労でした。少し落ち着くと話題は昨日のスーパーでの買い物の話やテレビに話などに移り、目を輝かせながら一生懸命話してくれました。食事のペースは皆それぞれで、遅い子には保育士が来て「これも少し食べてみようね。」などと優しく促していましたが、保育士は一人ひとりの食事のペースをしっかりと把握しているようでした。このような日々の地道な積み重ねが子どもたちの成長に繋がっていることを感じました。

〈子ども本人からの聞き取り〉

「おじさんいくつ？」の問いかけに対して「〇〇才だよ」と答えると「うちのおじいさんは△△才だよ、全部白髪だよ」など、説明に一生懸命でした。別の子に「保育園のどんなところが楽しい？」聞くと、周りの子から、それぞれに「いっぱい遊べる」「〇〇ちゃんと遊べるから」「□□遊びができるから」などの答えが一斉に返ってきましたが、その表情はいかにも楽しそうでした。

【4歳児】（1月17日）

〈保育の様子・子どもの様子〉

今日は雨で散歩ができず、室内で4～5歳児の午後の遊びを見学しました。二つのグループに分かれ1グループは保育室の片方に飛び箱とマットレスを敷き、飛び箱に上って立ち上がり、飛び降りる「跳び箱遊び」でした。もう一方では保育士の先生が園児の足を持ち、園児が手で前を進む「手押し車」という遊びをしていました。跳び箱あそびでは跳び箱の上に立った時に保育士が待っているタンバリンを鳴らして降りていますが、園児は「飛び箱から飛び降りるのが怖い」とか、「面白い」とか様々な感想を口にし、また、「手押し車」では手が疲れるなどと言いつつ楽しそうに遊んでいました。

〈子ども本人からの聞き取り〉

園児に飛び箱から降りる時、「楽しい？」と聞くと、「飛び箱から飛び降りるのが怖い」と答えてくれましたがその後何度も挑戦する姿を見て、チャレンジ精神が芽生えていることを感じました。一方手押し車では「手が疲れる」や「まっすぐ前に進めない」など答えが返ってきましたが、少しでも上手くなろうと向上心が感じられました。

【5歳児】（1月12日）

〈保育の様子・子どもの様子〉

昼食時を観察しました。席に着くと、園児は保育士が入れた食事容器を、各自自分の席に配膳し、行き渡ったら当番の「いただきます」の合図で食事の開始です。今日のメニューはシューマイ、ナムル、卵汁、御飯で、皆美味しそうに食べていました。6人で一つのテーブルを囲み、いろいろな話に花が咲きました。家族の話や好きなテレビの話など様々で、目まぐるしく変わります。4月からは幾つかの小学校にそれぞれ別れて行くとのこと、自分の行く学校の話を目を輝かせながらしてくれた園児もいました。

〈子ども本人からの聞き取り〉

食事中に同席の5名の園児に好きな食べ物を聞いたら、から揚げ、カレー、ハンバーグ、お寿司など様々な答えが一斉に返ってきました。その元気な声と表情は成長の息吹を感じさせるものでした。

事業者所見

横浜保育室から認可保育園に移行して3年目で初めて第三者評価を受審しました。

自己評価票に記入しまとめる過程の話し合いで、評価項目によっては職員一人ひとり捉え方がまちまちであることがわかり、保育計画やマニュアル作成の過程でさらに十分な意見交換の必要性を感じました。

ヒヤリングや保育観察においては、こども一人ひとりの個性を大切に、優しく寄り添った保育をしている、職員のチームワークの良さに高評価をいただいたことは、更なる向上を目指すための励みになり

ました。

課題としてあげられた園行事などの保護者への説明については、年度当初にお渡しする予定表や毎月のお便りでのお知らせを丁寧に行うと共に、クラス懇談会などで要望もお聞きしながら協力をお願いしていくことを職員で確認しました。

また、中期計画については、受審期間中に作成することができました。特に園運営についての将来構想は、目標は定めたものの計画書として書面にしていなかったため、この時期に指摘を受け、園として課題を明確にすることができ有意義でした。

保護者のみなさまには、お忙しい中、アンケートにご協力いただきお礼を申し上げます。今後も、地域、保護者の方々に信頼される保育園となるよう職員一同一丸となって努力をつづけてまいります。

港南あひる保育園